

JAグループ土づくり運動実践中！

新潟米の品質向上と異常気象下でも安定した品質、収量を確保するため、県下JAで土づくり運動を展開しています。



○土づくり運動の主な取り組み内容

1. 土壌診断を活用した土づくり肥料の提案

土壌分析結果にもとづき、不足している肥料成分を適切に補給することができる土づくり肥料をご提案します。

2. 「土づくり肥料連用効果実証圃」の設置

土づくり肥料の効果を実証するため、各JAに実証圃を設置します。単年の効果検証は難しいため、5か年継続で取り組みます。

3. 低コスト土づくり肥料の提案

「土づくり肥料は散布量が多くて大変」「生産コストを抑えたい」などの理由から土づくりを省かれてきた方等へ、土づくりの「きっかけ」づくりとして、越後の輝きソイル米スターを中心とした「低コスト土づくり肥料」をご提案します。

○なぜ土づくりが必要なのか

<新潟県水田土壌の現状>

単位:%	下限値	村上	新発田	新潟	新津	巻	三条	長岡	柏崎	魚沼	南魚沼	十日町	上越	糸魚川	佐渡
有効態ケイ酸	15	9.1	10	10.4	6.5	10.9	6.1	8	9.9	6.9	7.6	10.1	9.4	8.2	7.3
遊離酸化鉄	1.5	1.18	0.93	2.34	1.86	2.37	2.34	2.22	2.2	1.98	1.48	1.26	2.3	1.06	1.89

(新潟県農総研、2016データより)

1. 県内全ての地域でケイ酸が不足しています。
2. 一部地域で遊離酸化鉄が不足している傾向にあります。



ケイ酸が不足した稲

- ・茎葉が軟弱になり、倒伏の可能性や病害虫の被害が増えます。
- ・受光態勢が悪くなり、生育や収量、米の品質が低下してしまいます。
- ・根の酸化力が低下して、根ぐされや秋落ちの原因になります。

鉄が不足した水田

- ・土壌から硫化水素が発生しやすくなり、根ぐされなどを引き起こし、いわゆる「秋落ち」が生じる可能性があります。



米づくりは「土づくり」が重要です！
品質・収量向上のため、継続して土づくりに取り組みましょう

○おすすめ土づくり肥料

「越後の輝き ソイル米スター」

ケイ酸の補給に
おすすめ



○特徴

- ・ 1袋が **15kg**と軽量
- ・ ケイ酸を **30%保証**
 水稻が効率的に吸収するケイ酸を含む
- ・ 標準施肥量: 10aあたり2袋以上

○保証成分

りん酸	加里	アルカリ	ケイ酸	苦土
1	7	23	30	2.3

「ソイルキーパーFe」

鉄の補給に
おすすめ



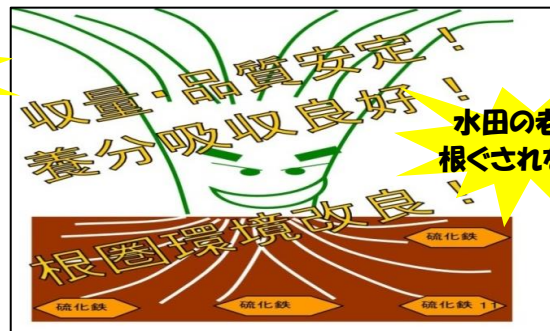
○特徴

- ・ ケイ酸と鉄を中心とした土づくり肥料
- ・ 酸化鉄を **19%含有**
 秋落ち、ワキの抑制に有効
- ・ 標準施肥量: 10aあたり3~5袋

○保証成分

アルカリ	ケイ酸	苦土	鉄(含有)
35	13.5	1.5	19

○ケイ酸、鉄施用の効果



(肥料農薬部 肥料農薬推進課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。